

## やまきだより 15



前号からちょっと間が空きました。

昨年末から1月、2月と、バタついていまして、落ち着いて「やまきだより」をとりまとめることができませんでした。すみませんでした。

さて、お世話になっている方に（不定期ですが）この「やまきだより第15号」を送らせていただきます。ご意見、ご質問、アドバイス、お問合せなんでも結構です。どしどし連絡ください。（本レポートがご迷惑の場合や、不要の場合はその旨連絡ください。配信ストップします。）

### 【熊本・震災がれき処理】

いよいよ熊本・震災がれき処理も終わりです。

熊本地震発生から2年、がれき処理開始から1年半がたちました。

「関係者の皆さん、本当にお疲れさまでした。」

現場は解体・撤去工事中で、その後、土間撤去、杭抜き整地、現状復旧と進みます。

まだ数ヶ月は必要です。

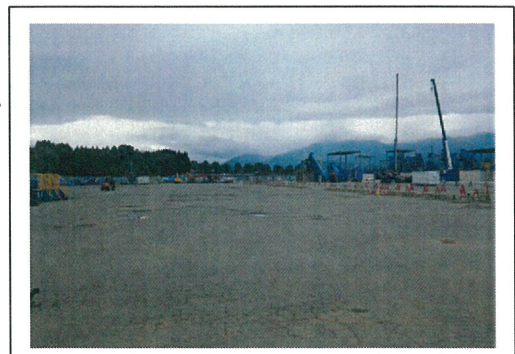


プラント解体撤去工事

で、これらの機械・プラントはどうするのか？

じつは「熊本県が保管する」のです。

将来の災害に備え、災害があったらそこにプラントを持って行き、組立てて処理する予定です。



2か月前は木くず、がれき、混合廃棄物が山積みでした

災害が発生しないことが一番ですが、今の世の中は「いずれ大地震が起こるだろう」が前提ですので、このような備え、考え方も「あり」なのですね。

「もしもの時」は、また、やります。

## 【法律改正】

みなさま土壤汚染対策法が改正されることは御存じと思いますが、「いつ何がどう変わるの？」は、なかなか理解しにくいのでは、と思います。

で、右のような「改正のポイント」を「強化」「緩和」「新規」で分けて記したフローを作りました。

ご希望の方にメールで送付します。

また、よろしければお伺いして説明、打合せさせていただきます。

ご希望の方は、ご都合の良い日時をご連絡ください。

また、セミナー・講演会でも説明しています。

右は1月22日の「土壤地下水基礎セミナー」ですが今後のセミナー等でも説明していきます。

これからの予定は次です。主催は産業環境管理協会です。

### ◎「土壤・地下水汚染に関する基礎セミナー」

第9回 2018年7/2(月) (会場：産業環境管理協会同ビル5階 TKP 予定)

第10回 2019年2/22(金) (会場：産業環境管理協会内6階 AB 会議室予定)

### ◎「土壤汚染調査技術管理者試験対応セミナー」

2018年10/4(木)～5(金)

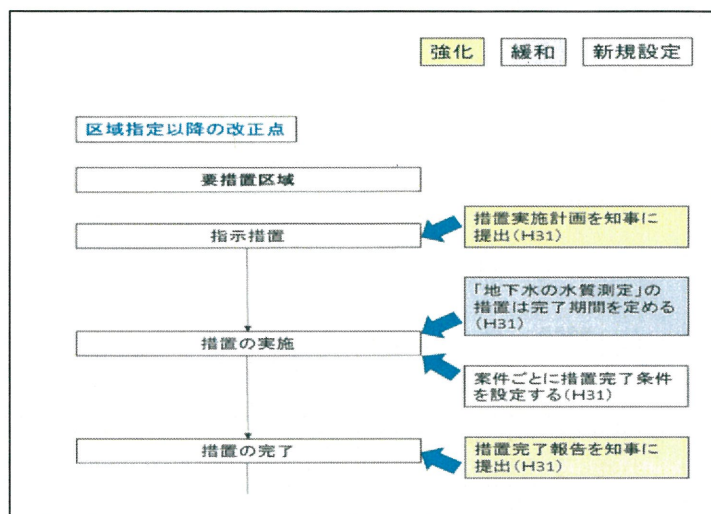
私の考える「法改正のキモ」は「自然由来汚染土壌は、同地層の自然由来汚染区画へ移動可能」なことです。(H31.4から施行の予定)

どういうことかと言うと、現在の法律では「自然由来汚染土壌を指定区域から搬出する場合は、認可を受けた汚染土壌処理施設等へ運搬して処理しなければならない」のです。

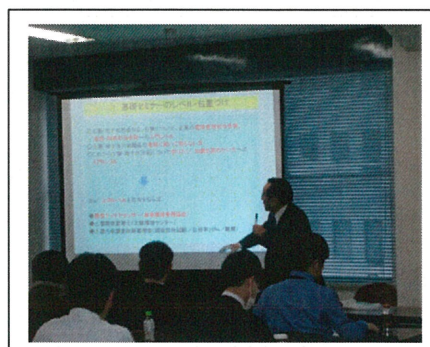
これが「汚染土壌処理施設等へ運搬して処理しなくてもよい」となり、「同地層の自然由来汚染区画へ移動してよい」しかも「移動した土壌を、いつまでに処理しなければならない期限はない」、つまり「山積みして置きっぱなしで良い」となりそうです。(ホントかな?)

ここは、これから、まだ、何か条件が付くとか、制限がかかるとか、なるかもしれませんが「そういう『緩和』の方向にある」ことは確かです。

このあたりも含めて、最新情報を説明・お打合せたく、ご希望があればお伺いします。



改正のポイント



土壤地下水基礎セミナー

【タイの法律状況は「次のSTEP」へ】

タイの土壌法（工業省「工場敷地内の土壌・地下水の汚染管理／2016」）も次第に普及してきました。

タイ全土で約 6000 工場が対象ですが、これまでに約 400～600 工場が届出・調査実施済となっています。

「えっ？たったの 10%程度？」と思われるでしょうが、それがタイ国風の「のんびり対応」なのです。

「しなくても罰則ないの？」は「罰則はないです」、  
「役所の指導は？」は「指導はしています」です。

子会社の EnviX Asia 社の調査実績は、すでに数十件になりました。

で、調査が増えると、ちらほら「基準超過」も出てきます。

で、いよいよ「対策」の相談も始まりました。

タイで「汚染土壌はどう処理すればいいのか」を私なりに、調査、検討、開発しています。

その一つ、右はあるセメント会社で汚染土の受入れについてヒアリング・意見交換してきました。

私の隣のチチポング（Thitipong）部長は十分承知していて、日本の状況もご存じでした。

会議の中で「水銀は 500mg/kg までは受け入れ可能ですよ」など、具体的な話まで突っ込めたのは、予想以上の収穫でした。

いよいよタイも「対策」「浄化」「処理」が始まります。

【地歴調査・デューデリ調査】

国内の土地の動きも活発です。

たて続けに地歴調査、デューデリジェンス調査をしました。

土地売買、再開発、工場閉鎖などが相次ぎ、状況が活性化しているようです。

ネット販売、物流システム進化、AI、ビックデータなどが、みんな絡んで変化しているようです。



ボーリングマシンで井戸設置



ハンドオーガーで土壌採取



セメント会社で会議



地歴調査

ちょっと「バブル気味」にも思えます。(首都圏だけなのかな?)

「オリンピック景気」で終わるのか?ですね。

#### 【低濃度PCB汚染物処理】

ここでクイズです。「YES」「NO」で答えて。

第1問:トランスなどのPCB廃棄物の処理・処分は  
終わっているか、または、処理の順番待ちで  
ある

第2問:安定器や保護具など低濃度PCB汚染物は  
役所に届出してしっかり保管・管理して  
おけばよい

第3問:PCB汚染物を処理する工場は、北海道  
(室蘭)や九州(北九州)など全国の  
5工場である

答は、3問とも「NO」です。私も間違えて  
いました。

第1問は、(高濃度PCB廃棄物の処理は  
「順番待ち」で間違いではないが)低濃度PCB  
汚染物処理はこれから本格化する。なぜなら、

第2問「保管・管理しておく」は間違いではないが、「低濃度PCB汚染物は平成39年3月31  
日までに処理しなければならない」。これを超えると「廃掃法違反」となると言われています。

第3問北海道(室蘭)や九州(北九州)は高濃度PCB廃棄物処理工場であり、低濃度PCB  
処理工場は、全国に民間の35工場があります。

で、「これがヤマキ環境に関係あるの?」ですが、私のお客さんの中から「保管中だけど、い  
ずれ、処理・処分したい」「どうすればいいの」の相談がきて、そのニーズに答えて処理を始め  
ました。

と言っても、私は産廃の許可は持ってないので、持っている仲間と組んで対応しています。

「産廃トラックに積んで、処理工場へ、でしょ」とよく言われますが、上の写真のように「き  
ちんと」保管・管理されているケースばかりではなく、「高いビルの屋上」にあったり、「通路の  
狭い地下室」に入っていたり、「出入り口の無い保管部屋」に埋め込まれていたり、があります。

このような場合に「ゼネコンの経験」が活かれます。クレーン計画、横引き作業、仮設架台設  
置、高所作業車、などを駆使して、安全に、安く、確実に処理する計画を立てています。

「そろそろ処理を考えようか」とか「まず、計画、見積が欲しい」は、ぜひ相談ください。



保管中のトランス類



保管中ドラム缶

### 【たびレポ】

今回は、食レポ（グルメレポ）に代わって、「たびレポ」です。

タイの子会社「EnviX Asia 社」のメンバーと一緒に、1泊で社内旅行に行ってきました。

向かった先は、バンコクから北西に約 250 km のカンチャナブリ県です。カンチャナブリ県の向こう側はミャンマー国です。



おそろいポロシャツで社内旅行

まず、「戦場にかける橋」で有名なクワイ川鉄橋へ。

この橋は、第2次世界大戦で日本軍がビルマ（現ミャンマー）に軍事物資を運ぶ鉄道として敷設されました。「泰緬鉄道」と呼ばれ、泰（タイ）と緬（ミャンマー）を結ぶラインでした。当時は木造橋。

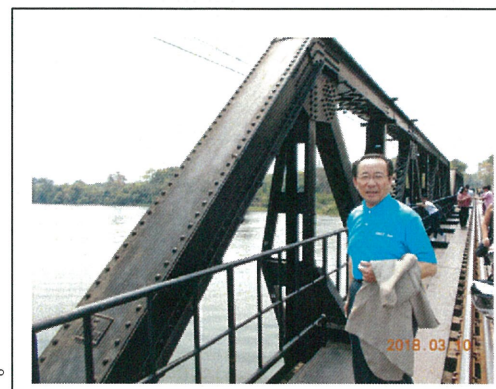
感想は「思ったより、小さいな」でした。

でも、考えてみれば 100% 近く「人力」で作ったものですから、そんなに大きなものはずがないです。

そばの歴史資料館には、当時、英国人捕虜を使って建設した展示、記録などが残っていました。

残酷で、悲しい場面の展示もありショック！

やっぱり戦争は悲しいものです。



戦場にかける橋は意外に小さかった

右の写真は橋の上で、左から梅山君（駐在）・テント君・中里社長・八巻・プイ嬢・フレッシュ嬢・チャヤウイ氏（タイ側株主）・ニン嬢・ピム嬢です。

EnviX Asia 社の社内では、英語が公用語ですがタイ語混じり日本語も飛び交っています。



橋の上で。1日に数回列車が通る

次に訪れたのは「マリカ」という、古いタイ王国風のテーマパークです。

レンタルの民族衣装に着替えてタイ王国気分です。

園内には、伝統的な建物がたくさんあり、食べ物、飲み物も、昔のもののいろいろな種類がありました。

池もたくさんあり、水上マーケットもやっています。



マリカにて。いにしえのタイ王国の気分です

男性の民族衣装の下は、腰巻というか、ズボンみたいなもの、というか、なにせ1枚の布です。

この布を係の人が、巻いて、はかせてくれます。

昔のタイ男性は、この布を纏っていた。私は、自分では、まず着付けできないので、トイレには行かなかったです。(行くと、直せない)

日本の「ふんどし」に似て「締める」ような感覚でした。



なんと1枚の布をまいてズボン？腰巻？

ゆったり、のんびりと時間が流れる空間にいて、とてもリフレッシュできました。

バンコクから約3時間、メインの有名観光コースではないので外国人は少なかったです。



リフレッシュできました



みんな楽しそうでした

#### 【マラソンレポート】

前号で「次は横浜マラソン、がんばるぞ!」と書きましたが、「横浜」は台風で中止になってしまいました。

前泊するホテルまで取っていたのに、残念!

で、その次は1月の「千葉マリンハーフ」にエントリーしていたのですが、年始に左足首をくじいてしまい「故障者リスト」に入って断念。キャンセル。またまた、残念!

で、やっと3月に「富津ハーフ」で復帰しました。



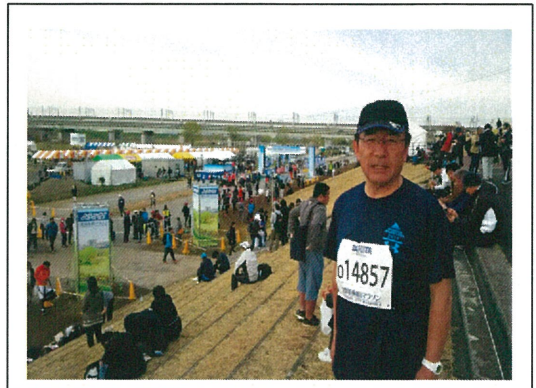
富津ハーフなんとか完走しました

タイムはともかく、完走できて「復活したぞ」と気分がよくなって、2週後の「板橋シティフルマラソン」にチャレンジしました。

ところが、やっぱり「ハーフ」と「フル」では全然、大違い。完璧に打ちひしがれました。

30km過ぎから右ひざが痛くなってきて、35km過ぎからは痛くて、痛くて走ることができず、右足を引きずりながら歩いて、やっとゴール！

年始の左足首負傷でのトレーニング不足でしょう、「ハーフはごまかせても、フルは許してくれなかった」という感じです。



板橋シティフルマラソン、負けました

今年の大目標、秋の「横浜フルマラソン」に向けて準備します。

【ご紹介ください】

- ・工場を買収する、工場を移転する
- ・買う土地の土壤調査をしたい
- ・売る土地の土壤調査をしたい
- ・「白の証明（汚染なし）」をしたい

などの調査の相談

- ・「浄化工事っていくらかかるの？」
- ・「バイオ処理ってホントに安いの？」

などの対策の相談

どうぞ、お気軽に！

株式会社ヤマキ環境

〒103 - 0006

東京都中央区日本橋富沢町 4-12

HTT 人形町ビル 2F

TEL 03-6231-0503

FAX 03-6661-7194

携帯 090-8774-9453

MAIL [yamaki@etod.co.jp](mailto:yamaki@etod.co.jp)

HP [www.yamakikankyo.jp](http://www.yamakikankyo.jp)

低濃度PCB廃棄物処理も相談ください。